

OpenTalkS!

2022.10 VOL.153



『暑さ寒さも彼岸まで』ということわざがありますが、そのまの意以外にも「辛いことも時期が来れば終わる」という意味でも用いられるようです。季節の変わり目、体調管理には気を付けたいものですね。さて、10月号では3Sの視点から通年徹底管理している堀江センターでの【備品管理】の取り組みについて特集します。ルールを守ることで整理・整頓、安全面を継続して管理することが出来ます。

ペン・刃物の管理



POINT 紛失防止のため、赤ペン黒ペンシャープの3本を持つところ、1本にして首から下げています。

◆ ペン ◆

ペンなどの業務中に一人一人携帯している道具は、始業時に持ち出し、終業時に自分の名前の場所に戻して管理表に○をします。



◆ 刃物 ◆

常に携帯せずに、必要なときにだけ管理表に日付・時間・名前を記入してから持ち出し、戻すときに返却欄に○を付けます。

POINT 管理表で管理することにより戻し忘れに気付き、紛失防止に繋がります。

◆ 修理工房のお道具箱 ◆

各自に[お道具箱]があり、作業終了時には工具が実写されているチェックシートの上に中身を全て出し、縫い針の本数など相違がなければ箱に戻して終了となります。併せてミシン針の管理も行っています。

備品の保管方法



長尺 (ドレス用)

短尺 (通常用)



POINT ここまでライン

◆ Zラック ◆

短尺と長尺のZラックは分けて保管し、出し入れをスムーズにしています。スペースがあるとどんどん重ねてしまうので、ラックの置き場所はここまでの意味の『ここまでライン』を床に引き注意喚起を行っています。
※Zラック：ハンガー商品をかける移動用ラック



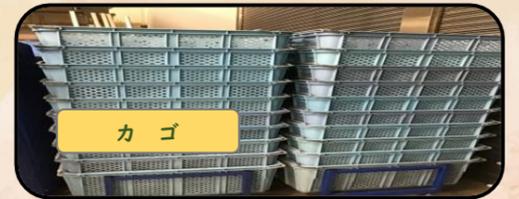
POINT 板台車置き場



POINT 出来栄写真を載せます!



オリコンキャスター



カゴ

◆ カゴ・板台車・オリコンキャスター ◆

看板に出来栄写真を貼ることにより、誰でも重ね方や保管方法が分かるようにしています。積む数も決め、必要なときに数える手間を省ける管理方法となっています。

堀江センターでは、5S委員会を中心にこのような3定管理の取り組みをおこなっております。

①定位 (置く場所を決める) ②定品 (置くものを定める) ③定量 (置く量を定める)

他センターへ見学に行き良い取り組みがあれば真似をしたり、定期的に社員全員で各現場を見回り3定が守られているかをチェックをしたりと、日々安心・安全のサービスをお客様に提供できるように努めております。

服装について

ここからは私たちの作業スタイルをご紹介します。作業中の動きやすさ、安全面を考慮した服装を規定しています。



■エプロンの肩紐ずり落ち困りますよね…。そんなときは紐をネジって着けることにより長さ調整できます。



■エプロンのポケットに縫い目を入れてペンを取り出しやすく工夫する人もいます。



持ち物は、ボールペンやマジックなど。カッターやハサミは使用するときだけ身につけます。

OTSカラーのエプロン。作業中は常に着用しているので、紐の結び方やポケットなどを使いやすくアレンジする人も。是非注目してみてください!



作業の邪魔にならない髪型で。ロングヘアの場合は結んだりアップにしたり、アレンジを楽しんでいる人もいます。

動きやすい服装が基本。パンツとスニーカーなどが理想的。室内履きに履き替え、衛生面にも考慮しています。

モデル：堀江センターQC事業室 Oさん